

めざす児童生徒像

- なりたい姿に向かってチャレンジできる子
- 自分や友達のがんばりや成長を見つけたり、応援したりできる子
- 自分で考えてすすんで行動（学習）できる子
- 他者と話し合い、問題を解決したり、新しい考えを生み出したりできる子

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

	目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果（％）			※差	達成状況の分析	改善策
					教員	児童生徒	保護者			
（学校で設定）	学校重点項目	学校教育目標の実現	めざす児童像 ①②③④の平均が 中間・・・８５％以上 期末・・・９０％以上	① 児童は、自分・学級・学校がより良くなるように考えて行動している。						
				② 児童は、互いに認め合い、協働しようとしている。						
				③ 教師は、児童の良さを認め、意欲を引き出すよう努めている。						
				④ 教師は、授業力・生徒指導力・学級経営力の向上に努めている。						
				集計						
	目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目					達成状況の分析	改善策
重点項目	石川県共通	業務の改善 働き方や	①②の平均が 中間・・・９０％以上 期末・・・１００％以上	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
				② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。						

	目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果（％）			※差	達成状況の分析	改善策
					教員	児童生徒	保護者			
小松市共通重点項目	指導力の向上	学校研究	①②の平均が 中間…85%以上 年度末…90%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元（授業）構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。						
				② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。						
				集計						
		「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	①⑤⑥の平均が 中間…８０％以上 年度末…９０％以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えを伝えている。						
				⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり，学びに対する達成感を得られたりしている。						
				⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。						
				集計						
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②③④の平均が 中間…８５％以上 年度末…９０％以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
				② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。						
				③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。						
				④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。（小中連携）						
				集計						
		学習方法	①②の平均が 中間…８０％以上 年度末…９０％以上	① 児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行っている。						
				② 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用している。						
				集計						